

2005年度の活動報告と2006年度の活動予定

2006年3月18日

産学連携分科会 オーガナイザー

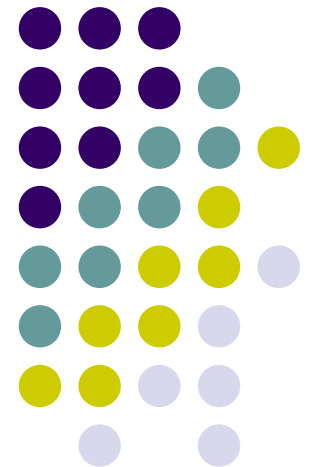
長壁健

鈴木睦昭

杉浦美紀彦

林聖子

矢上清乃



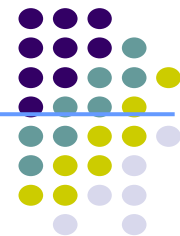
2005年度の活動報告(開催内容一覧)

=全体セッションの時間帯で開催



月	開催内容	ゲスト	カテゴリー		担当 Organizer
4	産学連携と人材	伊藤 伸 氏 農工大TLO(株) 代表取締役社長	学	●TLO	林
5	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにおけるベンチャー育成と地域連携 ～ SFC Incubation Village研究コンソーシアムの活動～	牧 兼充 氏 (Kanetaka Maki) 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科助手 慶應義塾大学SFC Incubation Village研究コン ソーシアム(SIV) 事務局長	学	●大学発ベン チャー ●地域振興	矢上
6	産総研における知財から見た技術移転促進のための方策	甲田 壽男 氏 独立行政法人産業技術総合研 究所 知的財産部門 知的財産コーディネータ (兼) 前知的財産高度化支援室長	中間 組織	●応用研究所	鈴木
7	産学連携はそろそろやめましょう	橋本 昌隆 氏 株式会社フューチャーラボラト リ代表取締役	産	●ベンチャー ●コンサルティング、 技術移転	杉浦
10	パネルディスカッション 「特許法69条の取扱い」 産学連携分科会主催 協力:ライセンスアソシエイト分科会、知財キャリア分科 会	パネラー(50音順): 上條 由紀子 氏 東京大学 先端科学技術研 究センター特任研究員・弁理士 室伏 良信 氏 ファイザー株式会社 知的財産 部長、弁理士 山本 貴史 氏 (株)東京大学TLO(CASTI)代表 取締役社長 兼 CEO	産 学	●技術移転 ●TLO ●大学発ベン チャー	長壁
11	フランホッファー研究機構の産学連携と技術移 転について	Dr. Lorenz Granrath Representative Fraunhofer Representative Office Japan	中間 組織	●応用研究所	鈴木
12	異分野連携の成功例? +	森 勇介 氏 大阪大学工学研究科助教授、 株式会社創晶代表取締役	産	●大学発ベン チャー ●医工連携	杉浦
1	バイオベンチャーの新たなスタイルについて ～ DNA BANK style～ 産学連携分科会、バイオベンチャー分科会共催	竹内 康二 氏 株式会社ディーエヌエーバンク 代表取締役CEO	産	●大学発ベン チャー ●バイオ	林

2005年度の活動報告 ~ 5月 ~



●スピーカー: 牧 兼充 氏 (Kanetaka Maki)

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科助手

慶應義塾大学SFC Incubation Village研究コンソーシアム(SIV) 事務局長

●演題: 「慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにおけるベンチャー育成と地域連携 ~ SFC Incubation Village研究コンソーシアムの活動 ~」

●ご講演内容

● SIVアントレプレナー・ラボラトリー概要

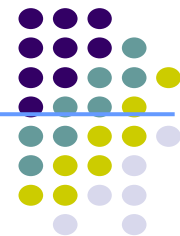
- Vision 「SFCをベースにした大学発ベンチャーインキュベーションの成功モデルを作る」
- Mission SFC連携型インキュベーション施設を中心としたインキュベーション・システムの創生と発展的展開
- 活動の3本柱: 教育、アウトリーチ、研究
- 研究テーマ
 - 大学型インキュベーション機構のプラットフォーム・デザイン
 - 大学における知的財産マネジメント手法の確立
 - アントレプレナーのためのネットワーキング構築 (グローバル & ローカル)
 - アントレプレナー教育
 - 藤沢市域を中心とした地域活性化

● SIVラボの地域連携施策

- 地域連携型アントレプレナー教育
- 藤沢鳳雛塾

● SIVラボ: 最近の成果

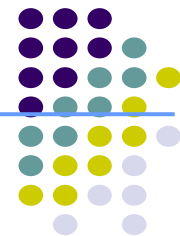
- 成果1: SIVコミュニティの拡大
- 成果2: SIVブランドの確立
- 成果3: アントレプレナー教育基礎コース
- 成果4: コンテスト認知度の向上
- 成果5: SFC Entrepreneur Award 2004
- 成果6: メンター三田会発足
- 成果7: トロンショー参加
- 成果8: グローバル連携
- 成果9: 資金支援スキームの検討
- 成果10: インキュベーション施設運用スキーム検討
- 成果10+1: SIVアントレプレナー・ラボラトリー設立
 - コンソーシアムは3年間期間限定でスタートしたが、活動内容の充実により、継続のリクエストを多数いただいた。
 - コンソーシアム組織を発展的に改組し、ラボラトリーを設立。
 - 推進メンバーとしての教育の拡充。
 - 活動内容の発展的充実。



- **スピーカー: 甲田壽男 氏**
独立行政法人産業技術総合研究所 知的財産部門
知的財産コーディネータ (兼) 前知的財産高度化支援室長
- **演題: 「産総研における知財から見た技術移転促進のための方策」**

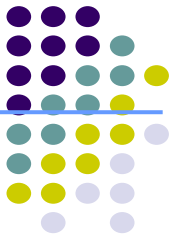
- **ご講演内容**
 - **産総研のミッション**
 - 産業界を通して社会に貢献する研究、産学官連携の積極的推進
 - **技術移転プロセス**
 - 知財化と活用の組織/体制、特許の売り方、情報発信
 - **知財部門の目標実現に向けて**
 - 知財の活用促進、研究戦略と知財戦略の融合化、知財高度化支援、知財活用支援
 - プレ評価会を中心とした知財戦略特許、特許検索から特許マップ作成へ
 - **知財コーディネータの役割**
 - 研究ユニット・研究者との連携 (戦略策定支援, 個別相談, 特許活用相談)
 - 高度化支援室との連携 政策的予算の遂行
 - 産学官連携推進部門との連携 (知財の観点から企業と協議)
 - TLOとの連携 (プレ評価のフォロー、売り込み案件の発掘、研究者との橋渡し)
 - 知財部門の政策的予算、
 - 技術移転プロセスのときのリスクマネジメント

2005年度の活動報告 ~ 11月 ~

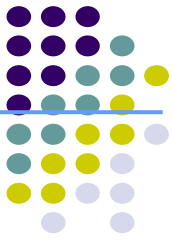


- **スピーカー:**
Dr. Lorenz Granrath
Representative Fraunhofer Representative Office Japan
- **演題:**
「**フランホッファー研究機構の産学連携と技術移転について**」
- **ご講演内容**
 - **機構概要**
 - ドイツの半民半官の応用研究型研究所
 - 58研究所 (40箇所)、12600人の 研究員、8つのアライアンス
 - **技術移転**
 - 企業の委託研究、共同研究、ライセンス、企業への人材派遣
 - 企業からの派遣、スピンオフ
 - **大学との連携**
 - 大学と隣接、大学の教員がFhGの教授を兼務
 - 学生がFhGの研究員兼務
 - **企業との契約**
 - 企業の要求、ゴールと完成品の明確化
 - ゴールに至るステップ
 - マイルストーンを伴ったプロジェクトプラン





- **スピーカー:橋本 昌隆 氏 (Masataka Hashimoto)**
株式会社フューチャーラボラトリ代表取締役
- **演題:「産学連携はそろそろやめましょう」**
- **ご講演内容**
 - 株式会社フューチャーラボラトリ概要 ～取扱事例の紹介～
 - 世界最速のサイコロ(高精度加工技術の企画・販売/入曽精密)
 - 熱滅菌装置開発(企業連携による機器開発&ビジネスチャンス創造/アドック神戸)
 - ウェラブルコンピュータ(産学官連携の研究開発型NPO)
 - ウェラブルソーラーセル(商品化企画)
 - 研究人材交流化プロジェクト(人材交流促進中間組織構想)
 - 産学連携の問題点
 - スピード感の欠如(意志決定権者が見えない。使いづらい予算。etc)
 - 企業側の論理とのずれ(技術の新規性にこだわりすぎ。まず特許ありき。etc)
 - これからの産学連携は？
 - 人材交流型産学連携(ノウハウを持った人材の移転)
 - コンサルティング型産学連携(共同研究の手前のコンサルティング)
 - 幅広い研究知るサポート組織(経営戦略立案、財務、広報、営業など)
 - ビジネスマッチングの問題
 - コーディネータの力量(目的を持ってマッチングさせているか)
 - 中心となる人の情熱



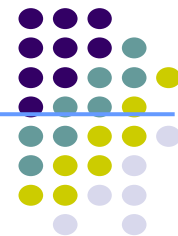
●スピーカー:森 勇介 氏 (Yusuke Mori)

大阪大学工学研究科助教授、
株式会社創晶代表取締役

●演題:「異分野連携の成功例? + 」

●ご講演内容

- 株式会社創晶のビジネスモデル(自然に始まった事業化・起業)
 - ～ 何故、タンパク質結晶を工学部(電気系)の研究者が扱うようになったのか～
 - もともとレーザービームの集光に必要なため結晶について研究
 - 成果を上げていくうちに企業から声がかかる
 - 自分たちの研究が世に出ることのおもしろさを実感
 - バイオブームの中で、創薬における結晶の必要性に注目
 - 結晶化が難しい膜タンパク質でも成果をあげ、いろいろな研究者から声がかかる
 - タンパク質の加工のためのレーザー開発も評価が高い
 - 製薬会社や研究機関から結晶化を受託するというビジネスモデルでベンチャーを立ち上げ
 - さらに発展へ
- 医工連携の事例
 - 医学部の先生と、ゆるまないように表面をレーザー加工した人工関節を開発



● 企画趣旨

デューク大学事件がきっかけとなり、日本の大学関係者が騒ぎ出した。

議論の下になる特許法69条ってなんぞや？

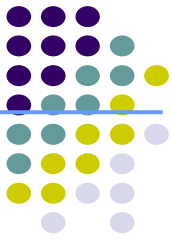
特許法69条がらみの訴訟は？

製薬会社のスタンスは？

日本の大学を取り巻く状況(総合科学技術会議での議論の行方、等)は？

● 講演内容(発表順)

- 上條 由紀子 氏 (慶応大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構専任講師、弁理士)
 - 特許法69条の解説、重要訴訟の紹介
- 室伏 良信 氏 (ファイザー株式会社 知的財産部長、弁理士)
 - 重要訴訟の補足、ファイザー(株)としてのリサーチツール特許の対応
- 山本 貴史 氏 (東京大学TLO代表取締役社長 兼 CEO)
 - 総合科学技術会議の方向性、産学連携に関わる問題点



- **スピーカー:伊藤 伸氏 (Shin Ito)**

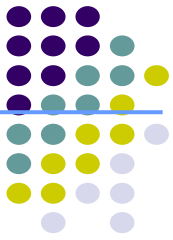
農工大TLO株式会社 代表取締役社長

- **演題:「産学連携と人材」**

- **ご講演内容**

- おさらい 産学連携とは
 - 産業界(企業等)と大学の連携活動
 - 産学官連携の大きな流れ
 - 産学連携の政策的変遷
- TLO(技術移転機関)とは
 - TLOの仕組み
 - 全国の承認TLO
 - 日本のTLOの実績
 - 国立大学法人化と発明の機関帰属
 - 国立大学とTLOの新たな関係例
- 前職は新聞記者
 - 産学連携へ転身

- 東京農工大学について
- 農工大TLOの設立と経緯
 - 常勤スタッフ&オフィス
 - ライセンス
 - 共同研究と相乗効果
 - 大学発ベンチャーと相乗効果
- 産学官連携で働きたい人へ
- 産学連携に求められる人材とは
- 参考:コーディネータの心得
- 約4年間働いてみて
- 産学連携人材まとめ



● **スピーカー: 竹内 康二氏 (Kouji Takeuchi)**

株式会社ディーエヌエーバンク 代表取締役CEO

● **演題: 「バイオベンチャーの新たなスタイルについて～ DNA BANK style～」**

● **ご講演内容**

● DNAバンクというビジネス

- 経緯について(大学院生発ベンチャー)

- 各ビジネスモデルについて

事業を興す時、何を目的にするか

B to Cのバイオベンチャー

バイオビジネスの問題点(研究開発とマーケティングを別々に 形が見えたところで合併)

- ディーエヌエーバンクの各種事業について(事業概要、メリット、デメリットなど)

DNA解析検査受託事業

遺伝子検査

遺伝子保存事業

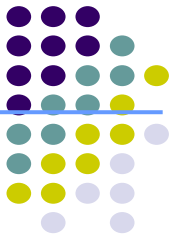
バイオ教育教材事業

糖脂質研究開発事業 他

- 産学連携について

- 今後の展望

2006年度の活動予定



- 2006度の講演テーマ(案)
 - 専門コーディネーター育成
 - 産学のミスマッチングの討論
 - 産学連携コーディネート駆け込み寺
 - 公設試の産学連携取り組み状況と地域振興
 - バイオ知財
 - クラスター創生
 - 知財評価
 - 異色の産学連携事例
- 2006度の分科会開催時間
 - 17:00 ~ 18:30
 - 全体会は2 ~ 3回程度開催を目標・予定
- 2006度・前半の予定
 - 4月、5月 分科会開催
 - 7月全体会開催希望